

けやきの風

物価高騰、年金削減の三重苦

高齢者370万人

医療費2倍

岸田政権は10月1日、75歳以上の後期高齢者のうち370万人の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げ、2倍にしました。物価高騰で苦しむ国民に、さらに追い打ちをかける暴挙です。一方、収入では頼みの年金を今年の6月に4%削減したばかりです。軍事費の2倍化を狙う一方、社会保障は容赦なく切り捨てる岸田政権。いま開会中の臨時国会では物価高騰から暮らしを守る政治の責任が問われています。

病をかかえ我が家の財政を圧迫する

「10月から医療費の2倍化、高齢になった自分の健康と医療の関係を改めて考えています。持病の慢性副鼻腔炎は風邪をひくと症状がひどくなるので気をつけています。常備薬は血圧の薬。歯科検診は月に一度。交通事故の後、下肢の腫れと痛みが取れず、月に一回、保険のきかない鍼灸治療を

日本共産党湖北台
後援会連絡所
早川 小野 鈴木

が月に3千5百円から4千円5百円かかっているのが2倍になり生活が大変だ」「軍事費を増やすのはやめて、物価高騰対策や窓口負担1割に戻すなど社会保障に税金を回してほしい」（79歳男性SKさん）と怒りを爆発させていました。

補聴器は高くてネ

我孫子市に昨年「補聴器の補助を求める会」が発足し、運動を始めました。

補聴器は品質の良い製品になると価格が高く、少し我慢して低廉価格の物を利用して人います。今、全国的に北海道から沖縄県まで21市9町6村15区の自治体が何らかの補助金給付をしています。これは地元の聴覚障害で苦しむ人を少しでも援助し性能の良い補聴器を購

入してもらおうという運動

何らの指示もないので補助など考えてない」でした。購入への助成運動を広げ市を動かそう

また、「会」では千葉県内の隣の印西市を言め、船橋市、浦安市の運動を参考に昨年我孫子市12月議会へ陳情しましたが、本会議で自・公の反対で否決されました。「会」は、市内での宣伝を強め署名の取り組みを広げて高齢者に多い難聴問題を克服する運動として再度我孫子市へ助成への陳情を行うことにしています。

保険証廃止納得できない

強制的にマイナカード

に一本化「法律上は任意」

岸田政権は、健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードと一体化する方針を示しました。河野太郎デジタル相は記者会見（10月13日）で「24年度秋に現在の健康保険証の廃止を目指す」と表明。誰もが使う保険証の機能を同カードに一本化し、法律上「任意」とされてきたカードの取得を事実上強制するものです。

「24年秋に」と明言

政府は6月の「骨太の方針」で「保険証の原則廃止を目指す」としており、今回は具体的な時期を明言したものです。

交付率 人口の49パーセント

マイナンバーカードの交付率は全人口の49%（複数回答）で最多となつています。

マイナ制度 廃止を

マイナンバー違反訴訟弁護団の弁護士 坂本団（まどか）さん：生活に不可欠なものと引き換えはあまりに強権的です。

「しんぶん赤旗」日曜版十月二十三日号より

※湖北台後援会「けやきの風」のニュースは、読者のみなさんのカンパで発行しています

街路樹

ロシアの特別軍作戦と称する今回のウクライナ侵略は第二次世界大戦の時代に逆戻りした、領土拡大という衝撃的な戦争です。戦争が長期化することで住宅や建造物が破壊され、電気などのインフラが破壊され、街が廃墟になる状況です。戦争長期化で庶民には利するところはなく、利するのは軍事産業（国）です。戦争は始めたら終わることが難しい。だから戦争しない外交力が大切だと孫崎享氏は言うが、まったく同感です。▼連崩壊時の米・欧・露のNATOを東方に拡大しない合意を米・欧がつぎつぎと無視し、NATOを拡大（現30ヶ国加盟）して来たところにウクライナ問題の基本がある。キッシンジャーやケナン氏もNATOをウクライナに拡大することの懸念を表明していたと孫崎氏はいう。▼プーチンの愛国主義の大ロシア国家づくりの野望を米が逆利用して仕掛けさせた（羽場氏・青山学園大教授）結果、NATO各国が軍事費GDP2%をすんなり決め、日本も追随している。▼米はロシアの弱体化の後には対中国封じ込め作戦を展開しているという論者がいるがアジアを第二のウクライナにしてはならない。アジアを二極化する企ては平和と繁栄をもたらさないと思う (S・A)

年金者組合 日帰りバス旅行 予科練生のことを考え 平和への思い新たに

10月13日、年金者組合我孫子支部はバスで茨城県霞ヶ浦「予科練平和記念館（過去を知り未来を見つめ二度と過ちを繰り返さぬために）」を訪れました。

昭和14年当時東洋一の規模を誇る阿見町の霞ヶ浦飛行場に14〜20歳の青少年を集め基礎訓練から熟練の搭乗員を多く育てることを目的に「海軍飛行予科練習生」及び制度が設置されました。15年間で約24万人が入隊し、2万4千人が戦地に赴き戦死者はその8割の1万9千人にものぼりました。若い少年たちが戦争に巻き込まれ家族や故郷に思いをはせた手紙の数々は読む人の心を打ちます。ふつうの少年だった予科練生の事を考えると平和への思いも新たに natte きます。

年金者組合 早川十郎



ヤギさんとの出会い

ヤギさん除草隊が地球を救う？

身近に紅葉を見に行こうとカメラを持って出発。団地のけやき通りの色づきはいつも、様々な色合いを見せてくれるなあと感じます。田圃に沿った道に出て、中里新田の信号を台地側へ渡り、竹藪を右手に見て坂を登ります。諏訪神社をちよつと見て、中里市民の森へ。ここの紅葉はちよつと早く、「かまくら道」の看板を見て、下へ降ります。いつもは「常敷堤」を越えて、左へ曲がり「かまくら道」を登るのですが、この日は右へまがり、かつては「こ」まで手賀沼の水が来ていたのではないかしらと思わせるところを通って台地沿いに歩きました。車道に出る手前で、ヤギさんとであいました。一部は駐車場になっている草地に「頭が少し離れて

鉄杭につながれて草を食んでいました。これが「ヤギさん除草隊か」と思って、近づいてカメラを向けると、そのヤギは驚いて、綱をいっばいに延ばし逃げました。（写真 安全とみたの）か、今度は近づいてきました。今、あちこの自治体などが「ヤギさん除草隊」を活用しているそう。肩掛け草刈り機よりも費用が約3分の1、二酸化炭素も出さないとヤギによる除草が見直されています。牛、ウサギ、ヒツジなどと比較して



ヤギによる除草が最も高い評価を受けているそうです。ヤギが地球を救うかも、と思いをめぐらしました。（里）

※法律相談（相談無料）・岩井事務所にて毎月第4木曜日（2時〜4時）開催しています（事前に「ご連絡ください」）

政治革新の道しるべ、
真実をつたえ希望をはこぶ新聞です

日刊紙 ●月 3497円
日曜版 ●月 930円

しんぶん赤旗

11.3憲法公布記念日 全国で行動

国会前正面に4200人



主催者 国会議員 学者 芸人などからあひさつ、日本共産党政策委員長田村智子氏は、安保法制のもとでの「敵基地攻撃能力」がいかに危険か指摘し憲法9条を生かした平和外交を今こそと強調しました。「戦争させない」「軍拡反対」「ストップ戦争する国」などのプラカードが目立ちました。（S）

川柳	俳句	短歌	文芸欄
売国奴己の辞書に見当たらず 四丁目 松風 彦左	激流の蓮台渡し神の旅 四丁目 松風 彦左	秋麗木の実時雨の下を行く 三丁目 松永美穂子	名利を維新が神社に換えしとう 哀しからずや賑わう戸隠 七丁目 山野 美津
		戦争を終わるは難しウクライナ 瓦礫の街に冬襲い来る 五丁目 鈴木 明	

※寄稿・投稿をお待ちしています